

結果トシ一般職工ニ認リタルニ全職工ハ委員ノ尽力  
 カテ是認シ此際輕率盲動ヲ避ケ會社ノ意思ニ  
 従フヲ得策ナリトシ更ニ協議ニ属サズ平日ノ如  
 ク就業シ事件ハ一設落ヲ止セケタリ  
 二月十八日ニ至リ職工坂垣深以外十二名ハ會社ノ措置  
 ヲ不当ナリトシ此際断然退職スルヲ以テ之ニ対シ相  
 当退職手当ヲ支給サレタキ旨會社ニ申出テ  
 之カ勤機トナリ同日正午各職工ハ工場内ニ寄リ々  
 密議ヲナシ急業状態ニ陥リ終業後職工百三  
 十名中七十名(鐵工組合費)ハ會社ニ要求ヲ提  
 出スルコトニ協議一決セリ  
 東京鐵工組合理事長柳田強三郎ハ二月十九日  
 會社ニ出頭シ今回ノ問題ニ関シ會社ニ於テ何

等カ獎勵方法ヲ發表シ円満解決セラレタト申入  
 二対シ會社ハ其ノ現状ヲ説明シ此際具體的獎勵  
 勵案ヲ發表スル能ハスト答へ要領ヲ得ズレテ  
 辭トセリ

廿四日職工側ハ日給ニ對スル歩増ノ最低ヲ日給(収  
 入ノ程度ニテ決ス)ノ八分ノ七トナスト及精勤手  
 当ヲ月額トシテ一大三付四円支給スルコト(従来ハ出  
 世勤日ニ對シ一日七角ヲ支給)ノ二項ヲ歎願ノ形  
 式ニテ要求セリ

會社側ハ協議トシ拒絶ニ決シテ廿五日差役ハ職工側委  
 員ト會見會社ノ窮狀ヲ説明シ休業セサルヘカ  
 ラサル状態ニ在ルニ及業業者ヲ出スニ思ヒテ改世單  
 シタルモノナレバ其ノ意ヲ諒セサルヘト述へ委員等ハ